

令和5年度

# 大井川の源流部を学ぶ視察会 実績報告

視察日 令和5年10月29日（日）



大井川の清流を守る研究協議会

## 日程

期日	項目	時間	行程及び説明内容
10 月 29 日 (日)	島田駅南口 (ロータリー)	7:40	集合
	概要説明	7:40~7:50	研修会の概要説明、視察資料の配布
	四季の里	8:50~9:00	トイレ休憩
	牛の首(小山)	9:20~9:30	大井川で2番目に建設された発電所跡
	畑薙第一ダム	10:40~10:50	大井川上流部に建設された中空重力式(ホーロー・グラビティ)ダムとしては世界で最も高い、高さ125mのダムで、下流の畑薙第二ダムとともに初めて混合揚水式発電を行うダムとして建設された。
	赤崩	11:20~11:30	土砂崩壊地の見学
	樫島付近の 現状視察 (昼食含む)	12:10~13:00	リニア中央新幹線建設工事にかかる 宿舎及び工事ヤードの見学
	田代ダム	13:40~14:30	東京電力からの説明と取水口や流沢 の見学
	燕沢	14:50~15:00	リニア工事に伴う残土置き場の見学
	四季の里	17:50~18:00	トイレ休憩
島田駅南口 (ロータリー)	19:00	解散	

### 【参加者】

一般参加者 17人

(島田市5人、焼津市2人、吉田町2人、袋井市2人、牧之原市2人、藤枝市1人、菊川市1人、掛川市1人、川根本町1人)

講師1人、事務局2人





牛の首 (奥泉)



畑薙第一ダム



畑薙第一ダム



樺島ロッジ (リニア工事現場)



田代ダム



田代ダム

## R5 「大井川の源流部を学ぶ視察会」に関する意見・感想について

○参加者数：17人（内回答者数：17人）

○視察会開催をどのような形で情報をえましたか。

- ・新聞掲載・・・・・・・・・・11人
- ・市町の「広報」など・・・・・・・・5人
- ・友人等からの紹介・・・・・・・・1人

○河床の変化や両岸の山腹崩壊など、大井川上流部の現状を知っていましたか。

- ・知っていた・・・・・・・・・・8人
- ・知らなかった・・・・・・・・・・9人
- ・関心がなかった・・・・・・・・0人

○大井川の現状を視察して、どんなことを感じましたか

- ・大井川の上流部の井川ダム、畑薙第一ダムの堆砂がかなり進んでおり、いつかは土砂で満杯になり、ダムが機能しなくなるのではないかと思います。（掛川市）
- ・自然が崩壊していて大変な事が起きていると感じました。生きていくために必要な水も下流域に来なくなれば生活するのも大変になることを多くの人に知ってもらいたいと思いました。（牧之原市）
- ・自然がなくなっていて大変なことがわかりました。（牧之原市）
- ・自分が思っていた以上に崩壊が進んでいると感じた。田代ダムの役割を初めて知った。（焼津市）
- ・大井川の水が電力発電に貢献していることを実感した。水力発電のトンネルの多さが流水量が少ない原因と理解できた。山の崩壊による堆積土がダムの寿命を短くしていることが理解できた。（菊川市）
- ・電気、産業、飲料、生活用水と大井川から多くの恩恵を受けていると改めて思い知りました。水の問題は人々の生活に大きく影響を与えていると思います。リニアは静岡県にも経済効果があると言われますが、自然が壊れていく状況を見るとマイナス面が大きいと思いました。（藤枝市）
- ・改めて大井川の中流域の表流水の少なさを感じた。川口発電所に水圧鉄管で直接流れる水は相当な量だが本当に下流域がそれだけの水と電力が必要なのか利用状況を是非伺いたい。（川根本町）

- 数年前までは社有林でもあるため、人の出入りも少なく道も悪く雄大な自然が魅力的でした。しかしもう最近に迫るリニア工事でトンネルが掘られ、少なからず自然も水も失われていく現実はとても淋しいものと感じました。そして小澤さんの熟練した説明に、改めて生活を支える大井川の水を尊いものと思いました。どうやって水資源を守っていくか一市民として真摯に考えた一日でした。(島田市)
- 10年ぶりに訪れましたが、道が整備されていて驚きました。大井川の水が少なくてさみしい気がします。小澤さん、東京電力さんの丁寧な説明がとても良かったです。(島田市)
- 河床が上がってしまいこの先川が保てるのか非常に心配です。(島田市)
- 石風呂にも上流の土砂がたくさん運ばれて大井川の幅が半分くらいになっています。今回参加して大井川の上流部を視察しましたが、あちこちの沢から崩壊が起き河床も上がりこれでは水も流れてこないと思いました(島田市)
- 水は普段何もなければ当たり前前に使い恩恵を感じませんが、災害時によるインフラで大変に不自由な生活をしなければなりません。水は人間が生きるための源です。大井川源流の奥部まで入っていただき、ダム現状、水の供給、取水量等、素人では詳しくは分かりませんが改めて水の大切さを感じました。(吉田町)
- 山腹崩壊と大井川の水の少なさに驚きました。水の大切さも改めて知りました。(吉田町)
- 自然の大切さと水の大事なこと。水が無ければ自然も繁生できないので緑豊かな土地は大事なこと。(袋井市)
- 大井川はそんなに身近ではなかったので、実際に車窓から見て大井川の水量が非常に少ないことに驚きました。水量とダムの関係や沢が崩れている状況、リニアトンネル開設の問題など、多くの問題があることを知りました。大井川の自然と環境を守るための手立てが急務であると思いました(袋井市)
- 国、県、市町村で協力してこれ以上の崩壊が進まないように努力してほしい。(焼津市)

○行政や流域住民はどんなことをやっていったら良いと考えますか

- 上流部の山腹崩壊やダムへの堆砂について、より多くの人に大井川の現状を知ってもらうことが必要だと思います。(掛川市)
- 山の開発をやめることが一番だと思います。森林伐採をしてソーラーパネルを設置しているところも近年多く見られるので一定の規則を設けるなど。リニア工事による土砂の問題ももっと知ってもらえるように SNS などで写真と共に広めるなど。若者に興味をもってもらいたい。(牧之原市)
- 自然を壊さないように人々が気を付ける。(牧之原市)
- 川や海を汚さないように浄化槽管理を徹底する。(焼津市)
- 大井川の濁りのない水量を増やすには水力発電量を減らすことと思う。そのためには水力発電とそれ以外の方法とのバランスが必要と思う。水力以外の発電を考えると原発、風力、地熱、太陽光等の推進運動が必要。(菊川市)
- 大井川の恩恵を受けている市町でもっと大井川を知る機会を作る。(藤枝市)
- 河床上昇の推移や水質検査、生物の分布調査をきめ細かく実施し、生命力に溢れた大井川にする。中流域での水返せ運動に役立つ活動を期待したい(川根本町)
- リニアの問題があってこそ私たちは改めて水と大井川を考えました。私の住む場所は災害もなく不自由さを感じない。一市民として”水”を真剣に考える場もなかった。だから今こそ、こうした問題に取り組む機会や視察会を増やし多くの人に協議会への参加を提供してほしいと思います。(島田市)
- 自然を残しながら観光に力を入れて訪れる人が増えるといいなと思います。(島田市)
- 川の現状を流域地区、県民みんなに知ってもらう。(島田市)
- これからも多くの人達に川の現状を見てほしいと思います。また近隣の市町の広報誌などで知ってもらう事もいいかと思っています。(島田市)
- JR 東海のリニア工事の問題に県知事も見解し未だ先行き不透明ですが、人間の命を守る水を第一に考えて保全していただきたい。(吉田町)
- 掛川市倉真地区にある松葉の滝のように新東名が出来てから滝の水が消えた。その様な事が無いように治水のパトロール目的で大井川周辺のウォ



ーキングなど。(袋井市)

- 利便性を求めるための開発をすることにより、生物にとって大切な自然を壊している現状を私たちは意識して情報を得るようにしないといけないと思いました。また、行政も積極的に情報を流したり、自然を守るための手立てを考えていただければと思います。(袋井市)
- 視察会を電力会社、その他企業の支援をいただき引き続き頑張ってもらいたい。(焼津市)

## ○その他

- このような視察の場がなければ何も知らない興味もわからない他人事のような問題でした。とても勉強になり周りの人たちにも広めて行こうと思いました。(牧之原市)
- この協議会の組織に民間を加えたらどうでしょうか。幅広い意見が集まるとと思います。(菊川市)
- 大井川に関するあらゆる資料をホームページで閲覧したい。意見交換会も開いてみたい。(川根本町)
- 塩郷堰堤上流に砂利が堆積し、毎年ダンプカーによって下流に運んでいる。川岸に積んで川幅が狭くなり、被害が出るのではないかと心配です。何か砂利で利益が出るような方法はないでしょうか。永久につづくのではと思われます。また茶園も埃をかぶり、道路の痛みも目立ちます。(島田市)
- 講師の小澤先生のお話が分かりやすくてとても勉強になりました。このような良い機会を設けてくださりありがとうございました。あの紅葉がきれいで豊かな森林がリニアのトンネルの土のために壊されてしまうのかと思うと本当にリニアが必要なのかと疑問に思いました。(袋井市)
- 一般では入れない現状を見せていただきありがとうございます。(焼津市)